



平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 1 月 31 日

上場会社名 日本高周波鋼業株式会社 上場取引所 東証 第 1 部
 コード番号 5476 URL <http://www.koshuha.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 池田 辰雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 田中 慶壽 TEL (03) 5687 - 6025

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	40,568	18.2	2,784	128.1	2,651	131.3	2,091	113.0
19年3月期第3四半期	34,315	12.4	1,220	△42.3	1,146	△37.8	981	△19.1
19年3月期	46,582	—	1,689	—	1,601	—	1,327	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	14.25	—	—	—
19年3月期第3四半期	6.69	—	—	—
19年3月期	9.04	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
20年3月期第3四半期	48,754	22,271	45.7	151.78				
19年3月期第3四半期	47,191	20,251	42.9	137.99				
19年3月期	47,590	20,589	43.3	140.30				

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	54,000	15.9	3,100	83.5	3,000	87.3	2,400	80.8	16.36	—

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

(参考) 平成20年3月期の個別業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	40,500	18.5	2,400	263.7	2,500	266.4	2,100	144.4	14.31	

※業績予想の適切な利用に関する説明

- 平成20年3月期の連結及び個別業績予想につきましては、平成19年10月12日に公表した数値を修正しております。
- 上記の予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいております。状況の変化等により、実際の業績等が見通しの数値と異なることがあり得ますことをご理解下さい。なお、上記業績予想に関する事項は、3 ページをご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期のわが国経済は、戦後最長の景気拡大が続くものの、原材料高・円高によって収益環境は厳しさを増しており、企業の景況感はやや低下してきていると見られます。海外においても、サブプライムローン問題が当初の予想を上回る懸念材料となり、実体経済への波及リスクが視野に入りつつある状況であります。

このようなマクロ経済の動きの中で、日本経済を牽引する自動車産業は月間 100 万台超の国内生産を維持し、堅調に推移しております。鉄鋼業界においては、第 3 四半期の粗鋼生産が 3,087 万トン(1973 年 10-12 月に次ぐ史上第 2 位)となり好調を持続し、特殊鋼熱間圧延鋼材の生産も 544 万トンに達し、同じく四半期生産高としては史上第 2 位の水準となりました。

そのような状況の中、当社グループの連結売上高は 40,568 百万円(前年同期比 18.2%増)、営業利益は 2,784 百万円(前年同期比 128.1%増)となりました。セグメント別の業績は以下のとおりです。

特殊鋼部門については、ステンレス系鋼材の一部在庫調整があったものの、原料価格高騰に伴う鋼材価格改善に工具鋼を中心とした数量増も加わり、売上高は 32,784 百万円(前年同期比 20.8%増)となりました。営業利益はニッケル価格の動きが昨年度とは対照的に下落傾向にあり、これがステンレス系鋼材の価格下落に先行する形で原料のコストダウンにつながったため、2,515 百万円(前年同期比 211.3%増)となりました。

鋳鉄部門については、自動車・建設機械関連向けをはじめとして概ね好調に推移し、売上高は 5,761 百万円(前年同期比 13.0%増)となりましたが、原料コスト増や退職給付関連費用の追加認識などもあり、営業利益は 220 百万円(前年同期比 38.2%減)となりました。

金型・工具部門については、自動車向けの受注減などにより、売上高は 2,022 百万円(前年同期比 3.0%減)となり、営業利益は主力の金型部品の受注が第 3 四半期に入り持ち直したものの、48 百万円(前年同期比 13.1%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期の総資産は主にたな卸資産と売上債権の増加により、前連結会計年度末比で 1,164 百万円増加し、48,754 百万円となりました。負債については、主に借入金の減少により、前連結会計年度末比で 519 百万円減少し、26,482 百万円となりました。純資産については、四半期純利益 2,091 百万円を計上したことによる利益剰余金の増加により、前連結会計年度末比 1,681 百万円増加し 22,271 百万円となり、自己資本比率は 45.7%、1 株当たり純資産は 151 円 78 銭となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成 20 年 3 月期の連結及び個別業績予想につきましては、売上高は昨年 10 月末の予想を概ね達成する見込みですが、利益につきましてはニッケル価格が前回予想を下回っており、原料コストの軽減が見込まれることなどから修正するものであります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等は年間見積実効税率により計上しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第3四半期より、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる損益への影響は軽微であります。

（追加情報）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の5%に到達した連結会計年度の翌連結会計年度より、取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上している。これにより営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ170百万円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前第3四半期末 (18.12.31現在)	前連結会計年度末 (19.3.31現在) (A)	当第3四半期末 (19.12.31現在) (B)	増 減 (B) - (A)
(資産の部)	(47,191)	(47,590)	(48,754)	(1,164)
1. 流動資産	25,261	25,669	27,036	1,367
現金及び預金	736	435	279	△ 156
預 入 金	1,084	1,113	692	△ 421
受取手形及び売掛金	9,940	10,725	11,642	917
たな卸資産	12,817	12,867	13,838	971
前払費用	99	53	104	51
繰延税金資産	394	357	353	△ 4
その他	202	132	141	9
貸倒引当金	△ 14	△ 15	△ 16	△ 1
2. 固定資産	21,929	21,921	21,718	△ 203
有形固定資産	[20,097]	[20,021]	[19,855]	[△ 166]
建物及び構築物	3,412	3,376	3,631	255
機械装置及び運搬具	7,923	8,019	8,126	107
土地	7,533	7,533	7,533	—
建設仮勘定	944	813	199	△ 614
その他	283	279	364	85
無形固定資産	[111]	[111]	[106]	[△ 5]
投資その他の資産	[1,720]	[1,788]	[1,756]	[△ 32]
投資有価証券	1,357	1,329	1,253	△ 76
長期貸付金	80	82	42	△ 40
長期前払費用	7	6	0	△ 6
繰延税金資産	3	99	125	26
その他	398	393	416	23
貸倒引当金	△ 127	△ 122	△ 81	41
資 産 計	47,191	47,590	48,754	1,164

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期末 (18.12.31現在)	前連結会計年度末 (19.3.31現在) (A)	当第3四半期末 (19.12.31現在) (B)	増 減 (B) - (A)
(負債の部)	(26,939)	(27,001)	(26,482)	(△ 519)
1. 流動負債	18,359	18,866	18,581	△ 285
支払手形及び買掛金	11,036	10,584	10,230	△ 354
短期借入金	5,219	5,151	5,015	△ 136
長期借入金 (1年以内返済)	387	397	197	△ 200
未払金	121	204	395	191
未払法人税等	76	179	303	124
未払消費税等	114	172	194	22
未払費用	1,090	1,603	1,960	357
賞与引当金	102	507	100	△ 407
その他	210	67	184	117
2. 固定負債	8,580	8,134	7,900	△ 234
長期借入金	294	228	95	△ 133
土地再評価に係る 繰延税金負債	2,370	2,370	2,370	—
退職給付引当金	5,315	4,937	4,827	△ 110
役員退職慰労引当金	153	167	168	1
長期預り金	429	429	429	—
その他	17	0	9	9
(純資産の部)	(20,251)	(20,589)	(22,271)	(1,681)
1. 株主資本	19,157	19,501	21,221	1,719
資本金	15,669	15,669	15,669	—
資本剰余金	1,728	1,728	1,728	—
利益剰余金	1,774	2,120	3,844	1,724
自己株式	△ 15	△ 16	△ 21	△ 4
2. 評価・換算差額等	1,093	1,087	1,049	△ 37
その他有価証券評価差額金	359	353	315	△ 37
土地再評価差額金	734	734	734	—
負債及び純資産計	47,191	47,590	48,754	1,164

(2) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第3四半期 (18.4.1～ 18.12.31) (A)	当第3四半期 (19.4.1～ 19.12.31) (B)	増 減 (B)－(A)	前 連 結 会 計 年 度 (18.4.1～ 19.3.31)
1. 売上高	34,315	40,568	6,253	46,582
2. 売上原価	29,934	34,510	4,576	40,705
売上総利益	4,380	6,057	1,677	5,877
3. 販売費及び一般管理費	3,160	3,273	113	4,188
営業利益	1,220	2,784	1,564	1,689
4. 営業外収益	189	172	△ 17	250
受取利息及び配当金	35	36	1	37
賃貸料	30	26	△ 4	38
その他	123	109	△ 14	173
5. 営業外費用	263	305	42	337
支払利息	59	64	5	80
出向者人件費負担金	80	63	△ 17	116
その他	124	178	54	140
経常利益	1,146	2,651	1,505	1,601
6. 特別利益	222	40	△ 182	227
固定資産売却益	1	—	△ 1	1
投資有価証券売却益	181	—	△ 181	181
貸倒引当金取崩益	40	40	—	44
7. 特別損失	5	150	145	67
固定資産処分損	—	135	135	60
減損損失	1	—	△ 1	1
投資有価証券評価損	—	14	14	—
ゴルフ会員権評価損	—	—	—	1
貸倒引当金繰入額	4	—	△ 4	4
税金等調整前四半期 (当期)純利益	1,363	2,541	1,178	1,761
法人税、住民税及び事業税	382	449	67	408
法人税等調整額	—	—	—	25
四半期(当期)純利益	981	2,091	1,110	1,327

(3) 連結株主資本等変動計算書

前第3四半期(平成18年4月1日～平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成18年3月31日残高	15,669	1,728	1,162	△ 11	18,548	528	732	1,261	19,809
当四半期中の変動額									
剰余金の配当 (注)			△ 366		△ 366				△ 366
役員賞与 (注)			△ 0		△ 0				△ 0
四半期純利益			981		981				981
土地再評価差額金取崩額			△ 1		△ 1				△ 1
自己株式の取得				△ 3	△ 3				△ 3
株主資本以外の項目の当四半期中の変動額(純額)						△ 169	1	△ 167	△ 167
当四半期中の変動額合計	—	—	612	△ 3	609	△ 169	1	△ 167	442
平成18年12月31日残高	15,669	1,728	1,774	△ 15	19,157	359	734	1,093	20,251

(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

当第3四半期(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成19年3月31日残高	15,669	1,728	2,120	△ 16	19,501	353	734	1,087	20,589
当四半期中の変動額									
剰余金の配当			△ 366		△ 366				△ 366
四半期純利益			2,091		2,091				2,091
自己株式の取得				△ 4	△ 4				△ 4
株主資本以外の項目の当四半期中の変動額(純額)						△ 37	—	△ 37	△ 37
当四半期中の変動額合計	—	—	1,724	△ 4	1,719	△ 37	—	△ 37	1,681
平成19年12月31日残高	15,669	1,728	3,844	△ 21	21,221	315	734	1,049	22,271

前連結会計年度 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価 差額金	土地 再評価 差額金	評価・換 算差額等 合計	
平成 18 年 3 月 31 日残高	15,669	1,728	1,162	△ 11	18,548	528	732	1,261	19,809
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当 (注)			△ 366		△ 366				△ 366
役員賞与 (注)			△ 0		△ 0				△ 0
当期純利益			1,327		1,327				1,327
土地再評価差額金取崩額			△ 1		△ 1				△ 1
自己株式の取得				△ 4	△ 4				△ 4
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動 額(純額)						△ 174	1	△ 173	△ 173
連結会計年度中の変動額 合計	—	—	958	△ 4	953	△ 174	1	△ 173	780
平成 19 年 3 月 31 日残高	15,669	1,728	2,120	△ 16	19,501	353	734	1,087	20,589

(注) 平成 18 年 6 月の定時株主総会における利益処分項目であります。

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期(平成18年4月1日～平成18年12月31日) (単位:百万円)

	特殊鋼	鋳鉄	金型・工具	計	消去 又は全社	連結
1. 売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	27,130	5,099	2,085	34,315	—	34,315
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	202	18	20	241	(241)	—
計	27,333	5,117	2,105	34,556	(241)	34,315
営業費用	26,525	4,761	2,048	33,335	(241)	33,094
営業利益	808	356	56	1,220	—	1,220

当第3四半期(平成19年4月1日～平成19年12月31日) (単位:百万円)

	特殊鋼	鋳鉄	金型・工具	計	消去 又は全社	連結
1. 売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	32,784	5,761	2,022	40,568	—	40,568
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	204	17	18	241	(241)	—
計	32,988	5,779	2,041	40,809	(241)	40,568
営業費用	30,473	5,559	1,992	38,025	(241)	37,784
営業利益	2,515	220	48	2,784	—	2,784

前連結会計年度(平成18年4月1日～平成19年3月31日) (単位:百万円)

	特殊鋼	鋳鉄	金型・工具	計	消去 又は全社	連結
1. 売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	37,012	6,848	2,721	46,582	—	46,582
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	275	27	32	335	(335)	—
計	37,287	6,876	2,754	46,918	(335)	46,582
営業費用	36,133	6,411	2,683	45,229	(335)	44,893
営業利益	1,153	464	70	1,689	—	1,689

(注) 1. 事業区分は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各事業の主な製品

- (1) 特殊鋼 …… 鍛鋼品(ダイス鋼、プラスチック金型用鋼、その他精密鍛造材)
特殊鋼圧延鋼材・同二次加工品(軸受鋼、特殊ステンレス鋼、特殊合金)
その他(加工品、ビレット、その他)
- (2) 鋳鉄 …… 自動車部品、建設機械部品、合金鉄製造用の鋳型等各種鋳物製品
(ダクタイル鋳物、普通鋳物)
- (3) 金型・工具 …… 各種金型及び金型部品、各種特殊工具、完成バイト、付刃バイト、精密バイト、一般切削工具